

証券コード：5911



株式会社 横河ブリッジホールディングス

株主通信

YBHD NEWS No.41 | 平成27年2月



つなぐ、むすぶ、広げる、未来へ

The Next Perspective





代表取締役社長

荒井 久司

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、株主通信「YBHD NEWS」第41号をお届けいたします。

我が国経済につきましては、消費税増税の影響が予想外に長引き、足踏みが続きました。また想像をはるかに超えた自然の猛威が、日本列島の各地に災害をもたらし、インフラの重要性が再認識されました。このような環境下ですが、昨年末の第三次安倍内閣の発足による安定した政権運営のもと、第3の矢の成長戦略が早期に実現され、経済が持続的に回復するよう期待しています。

建設投資につきましては、昨年着工しましたリニア新幹線工事や、1号羽田線をはじめとする首都高速大規模更新事業等の事業化の一方で、長引く円安による原材料費高騰、今後顕在化が予想される技能労働者不足等、不安要素が見られます。

当社グループを取り巻く事業環境は、依然厳しい状況が続きますが、新設橋梁、保全工事等をはじめ多様化する橋梁工事の顧客ニーズに応えられますよう(株)横河ブリッジと横河工事(株)を10月1日に合併し、経営資源の効率的活用と利益最大化を図ることを目指してまいります。

今後とも役員・従業員一同、株主の皆様のご期待に応えられますよう一層の努力をしておりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年2月

平成27年1月28日に、平成27年3月期第3四半期(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)の決算短信を公表いたしましたので、その概況につきましてご紹介いたします。

連結経営成績(累計)

	平成27年3月期第3四半期	平成26年3月期第3四半期
売上高	72,966 百万円	62,148 百万円
営業利益	4,948 百万円	4,435 百万円
経常利益	5,133 百万円	4,498 百万円
四半期純利益	3,645 百万円	2,526 百万円

【連結経営成績に関する定性的情報】

当社グループの当第3四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)における総受注高は前年同期から18.0%増の816億4千万円となりました。

セグメント別の受注高といたしましては、橋梁事業411億5千万円(前年同期比8.1%減)、エンジニアリング関連事業383億7千万円(同71.3%増)、先端技術事業21億1千万円(同4.9%増)となりました。

決算面につきましては、当第3四半期累計期間の売上高は729億6千万円(前年同期比17.4%増)、営業利益は49億4千万円(同11.6%増)、経常利益は51億3千万円(同14.1%増)、四半期純利益は36億4千万円(同44.3%増)となり、同期間としての売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益はそれぞれ過去最高となりました。

セグメント別の売上高といたしましては、橋梁事業の売上高は豊富な手持ち工事の進捗により、485億6千万円(前年同期比19.1%増)と前年同期を上回りました。損益につきましては工事毎の原価削減に注力した結果、第2四半期で低下した利益率が改善いたしましたので、営業利益も前年同期を上回り35億3千万円(同18.7%増)となりました。

エンジニアリング関連事業の売上高は219億6千万円(前年同期比16.4%増)となり、システム建築事業を中心に前年同期を上回りました。損益につきましては固定費の増加などにより横這い傾向が続き、営業利益は15億9千万円(同0.2%減)となりました。

先端技術事業の売上高は18億4千万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は2億3千万円(同15.1%減)となり、当期に入ってから安定的な受注により前年同期並みまで回復いたしました。

平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	平成27年1月28日発表	平成26年10月28日発表
売上高	103,000 百万円	103,000 百万円
営業利益	6,300 百万円	6,300 百万円
経常利益	6,400 百万円	6,400 百万円
当期純利益	4,000 百万円	4,000 百万円
1株当たり当期純利益	93円49銭	93円31銭

【連結業績予想に関する将来予測情報】

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、前回(平成26年10月28日付け)公表いたしました予想値から変更はありません。

Topics 1 横河ブリッジ高瀬川橋現場見学会

現在、施工中の高瀬川橋工事（近畿自動車道紀勢線）にて、地域貢献の一環として、平成26年12月13日に現場周辺の地域住民の方々を招待し、現場見学会を実施いたしました。当日は寒く、雨の降る生憎の天候でしたが当初の予定を上回る約80名もの方に参加していただきました。

発注者であります国土交通省近畿地方整備局のご協力をいただき、様々なブースを設けることが出来ました。今回はその様子をご紹介します。

見学ブースについて

- 事業を皆さんに知っていただく施工状況のパネル展示
- 工事作業を体験する測量体験や高所作業車体験
- ちびっこたちもドキドキわくわく！！レンガによるアーチ橋の体験
- ご当地キャラクターの「しらぺん」とのふれあい

参加された方には普段見ることのできない建設中の現場に直にふれられ、橋梁に対する理解を深めていただきました。

これからも横河ブリッジホールディングスグループは地域貢献を進めてまいります。

<諸元> 工事名称：近畿自動車道紀勢線高瀬川橋本線上部工事
 工期：平成27年6月30日
 構造形式：2径間連続細幅箱桁橋 2連
 橋長：118m・129m
 鋼重：582t(上り線)+676t(下り線)+329t(合成床版)=1,587t
 所在地：和歌山県西牟婁郡白浜町十九洲地先



現在の様子 (H26.12)

工事概要・施工状況説明のパネル展示ブース



工事概要説明の様子



パネル展示による施工状況説明

工事作業体験ブース



高所作業車体験



測量体験

ちびっこわくわくブース



レンガによるアーチ橋製作体験



『しらぺん』とのふれあいブース

Topics 2 木質バイオマスエネルギー・臨空ファクトリー 建設工事のご報告

本工事は、島根県西部の日本海に面する石見地域の中心都市益田市に建設されました。

益田を流れ日本海へ注ぐ一級河川高津川は、昨年の国土交通省の調査による清流度ランキングで4年連続日本一となった清流です。その清流で採れる鮎は絶品として、かつて漫画「美味しんぼ」にも紹介されました。近頃夏には鮎釣りのため全国の太公望達が集まって来るようになってきました。

また、益田市は歌聖柿本人麻呂の生誕、終焉の地とも言われ、市内に由緒ある柿本人麻呂神社が2社あり、また世界で傑人の誉れ高い画聖雪舟の終焉の地で、雪舟が創った庭が2つあり、いずれも見応えある素晴らしい庭園で公開されています(いずれも国指定史跡及び名勝)。一度山陰益田への旅をおすすめします。

本工事は、島根県益田市近郊に豊富にある森林資源(間伐の推進と未利用木質資源)の活用を通じた循環型産業の振興につなげるため、木質バイオマス発電用燃料として使われる木質燃料チップ加工工場兼ストックヤードとして石見臨空ファクトリー内(島根県工業団地)に建設されました。

本建物の特徴は、垂直積雪量が85cmの制約の中で、木質チップを加工し搬出するための大空間・大開口を実現し、木質チップをストックするためのコンクリート擁壁(4m)とシステム建築の干渉部分はエキSPAN構造を採用して構造計算の簡素化を実現しています。さらに、管理棟の外壁に使われた木製杉板を、システム建築の加工工場の外壁にも一部取り付け2棟が一体化され、搬出用プラットホームを除いてはシンメトリーデザインとされバランスよく完成しております。

竣工式において、設計事務所から「システム建築と簡単に思っていたが、バランスのとれた合理的な良い構造でアイデア・工夫と苦勞を感じる」との労いの言葉をいただきました。多種多様なニーズが要求される建築物に対して、弊社のシステム建築工法による建物が十分にそのニーズに応えられる実績となりました。

【工事概要】

- ・工 事 名：平成25年度島根県森林整備加速化・林業再生事業
木質バイオマスエネルギー・臨空ファクトリー建設工事
- ・建 設 地：島根県益田市虫追町臨空ファクトリーパーク □320-115
- ・建物概要：建築面積：2,559.6㎡
建物幅38.0m×建物長さ66.6m 軒高8.5m

横河システム建築より、平成25年度島根県森林整備加速化・林業再生事業 木質バイオマスエネルギー・臨空ファクトリー建設工事についてご紹介いたします。



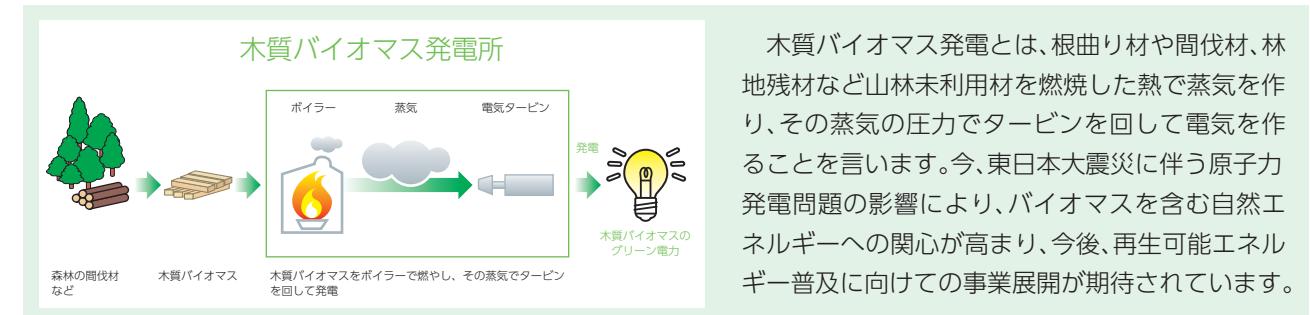
完成写真



yess建築建方中



竣工祝賀会での地元の益田もちつき音頭の様子



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金 交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他 やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新 聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.ybhd.co.jp/

YBHDグループ



株式会社 横河ブリッジホールディングス
グループ全体の経営管理



株式会社 横河ブリッジ
橋梁・橋梁関連製品・精密機器製造



横河工事株式会社
土木・建築・保全



株式会社 横河システム建築
システム建築・開閉式建築システム・環境



株式会社 横河住金ブリッジ
橋梁・橋梁関連製品・セグメント



株式会社 檜崎製作所
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



株式会社 横河技術情報
情報処理サービス・ソフトウェア開発



株式会社 横河ニューライフ
不動産管理・情報システム・人材派遣



株式会社 ワイシーイー
橋梁等構造物の総合エンジニアリング

完全子会社の合併に係る基本合意について

当社は、11月25日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社横河ブリッジと、同じく当社の完全子会社である横河工事株式会社が合併することを決議いたしました。

本件合併は、第3次中期経営計画において、「肥大化したグループを筋肉質で強固な企業基盤を有するグループに再構築する」基本方針の一環として行うものであり、橋梁新設・保全工事等をはじめ多様化する橋梁工事の顧客ニーズに応えられるよう、株式会社横河ブリッジと横河工事株式会社を合併会社に集約し、総合的橋梁事業会社としての位置づけを強化するとともに、「選択と集中」による経営資源の効率的活用と利益最大化を図ることを目指してまいります。

合併の当事会社に係る日程

合併基本合意取締役会	平成26年11月25日
基本合意書締結日	平成26年11月25日
合併契約締結日	平成27年4月下旬(予定)
合併承認株主総会	平成27年6月下旬(予定)
合併の効力発生日	平成27年10月1日(予定)

※表紙の写真は、yess建築で施工した木質バイオマス工場建屋(島根県益田市)
詳細は、記事をご覧ください。尚、手前建屋は、施工外です。



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL. 03-3453-4111(代表)

<http://www.ybhd.co.jp/>

